

気象庁気象研究所地震津波研究部
第3研究室長

干場 充之



揺れの数値予報

: 次世代の緊急地震速報を目指して

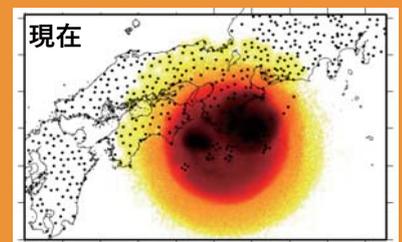
2017.12.5 (火)

18:00 - 19:30

名古屋大学減災館 1階減災ホール

※予約不要・入場無料

緊急地震速報の本格的な運用が始まってから10年が経過した。所定の効果を発揮してきていると言えるが、まだ、課題も多い。特に、広い震源域をもつ巨大地震の場合や地震が連続した場合への対応が求められている。天気の数値予報のように、地震の揺れを数値予報することでこれらの課題を克服する研究が進んでいる。



↓ 揺れの数値予報

